

## 秋田中央道路についての問い合わせ

秋田県都市計画課 ☎(860)2444  
 秋田中央道路建設事務所 ☎(837)8851  
 秋田市都市計画課 ☎(866)2152

(注)

**混雑度** 1日にその道を通る車の台数を、  
 1日に円滑に通れる車の台数で割った数値

1.0未満	混雑することなく円滑に走行できる
1.0～1.25	混雑する可能性のある時間帯が1～2時間(ピーク時間)ある
1.25～1.75	ピーク時のみの混雑だけでなく連続的混雑がみられる状態
1.75以上	慢性的な混雑状態



慢性的な混雑が続く明田地下道

さらに、高速道路との連絡が便利になり、都心部の渋滞が緩和されると、中心市街地の活性化にも大きく役立つこととなります。

### 東西道路は2本だけ

秋田駅周辺には現在、鉄道を横断する幹線道路が手形陸橋と明田地下道の二本しかありません。

これらの道路を渋滞なしで円滑に通行できる一日の車の台数は、手形陸橋一六、〇〇〇台、明田地下道八、〇〇〇台。それに対し、平成六年の交通量調査では、一日に手形陸橋二五、四〇〇台、明田地下道二五、五〇〇台の通行がありました。混雑度(上の注参照)は、手形陸橋が一・五九、明田地下道が三・一九と、慢性的に渋滞がある状況です。

### ほかの道路じゃダメ?

そのため秋田駅周辺では、手形陸橋の四車線化と線路の下を通る都市計画道路「千秋山崎線(右ページ図参照)」の事業に着手しています。しかし、将来の免許保有者数や自動車保有台数の増加、また、日本海沿岸東北自動車道の開通や秋田自動車道の四車線化などを考えると、これだけでは渋滞の解消はできないと予測さ

れています。

手形陸橋が四車線化され、鉄道の下を横切る千秋山崎線ができたとしても、やはり秋田中央道路は必要となります。

### 今年はどうなると?

秋田中央道路は今年六月三十日に建設大臣の事業認可を受け、八月九日に二百人を超える関係住民の出席のもと説明会を行い、事業に着手しました。今年度は、用地買収や建物移転補償のための現地調査、トンネルの設計、お堀の環境調査などを行っています。

トンネル建設工事は、出入口部分と千秋公園のお堀の一部は地上から掘り下げる開削工法で行いますが、それ以外の部分は、地中を横穴式に掘り進むシールド工法で行います。お堀の蓮や魚類など自然環境は十分に保護し、商業活動への影響も最小限にとどめながら、コスト縮減と安全な工事をめざしています。

秋田中央道路については、「建設の賛否を問う市民の会」のみなさんが市民投票条例制定に向けた活動を展開。また「秋田駅東商工振興会」と「秋田市民の会」のみなさんからは先月二十八日、早期着工・完成を求める要望書が県、市などに提出されています。



中央インターチェンジから日本海側へスムーズな交通が望めます